

国語科学習指導案

指導者 菊地 純

1 日時 令和元年10月8日(火) 5校時

2 学級 2年5組 男子13名 女子19名 合計32名 東校舎3階2年5組教室

3 主題 単元名「論理をとらえて」
中心学習材 「君は『最後の晩餐』を知っているか」布施英利(光村図書「国語2」)

4 主題について

本教材では、生徒も美術の教科書などで目にしたことがあるであろう名画を対象にとらえながら、書き手の個性的なものの方や価値観などが述べられている。しかし、それは決してひとりよがりのものでなく、「かっこいい」という日常的な言葉を効果的に使い、「解剖学」「遠近法」「明暗法」という三つの根拠を具体的に示しながら、説得力のある論述を進めている。

生徒は、中学校に入学してから、「ダイコンは大きな根？」や「ちょっと立ち止まって」「生物が記録する科学—バイオリギングの可能性」といった事実を説明する型の説明的文章を学習してきた。二学年に入り、新たに論説型の説明的文章を学習することとなる。事実を説明して伝えることはできても、自分の意見を分かりやすく伝える事は、不得手としている生徒も多い。特に日常生活において、何をいいと考えるかの答えのみを語り、相手に理解してもらおう為の根拠を示せないこともよくある。

そこで、本単元では、固有の考えを述べるに際し、読み手にそれをよりよく理解させるための表現・構成上の工夫がされている点について着目させ、根拠の働きに注目して論理的な表現のあり方について学ばせたいと考える。その上で根拠を明らかにした説得力のある文章を実際書き、その内容を小グループで交流することを通して、根拠をもって語ることで説得力が生まれることを実感させたい。また、多様な考えがあることに気づかせ、自分の考えを広げていく中で、意見文の学習につなげていきたい。

5 本時の達成目標

自分のお気に入りのものについて、根拠を示しながらよさを伝え合い、根拠の整合性について対話することを通して、説得力のある文章を記述することができる。

6 評価場面での生徒の記述例

【書く能力】

| おおむね満足 B | 十分満足 A |
|---|---|
| 私のお気に入りには、シャープペンシルです。 お気に入りの理由は三つあります。一つ目は使いやすさです。グリップが柔らかいので、強く握っても疲れません。太さもやや太めで握りやすくなっています。二つ目は、友達からの誕生日プレゼントだということです。友達が、私のことを考えてプレゼントしてくれたことを思うと、使うたびに心が温かくなります。 このシャープペンシルは使っていて自分の手にも心にもなじんだお気に入りです。 | 自分のこのシャープペンシルはかっこいいから気に入っています。その理由は二つあります。一つ目は、使いやすさだ。グリップの形状が工夫してあり、疲れにくいからです。太さも、やや太めで握りやすくなっています。作った人が使う人のことを考えて開発してくれたものだとわかります。二つ目は、友達からの誕生日プレゼントだということです。友達が自分のために選んでくれたということと思うと、いつも勇気づけられます。 このシャープペンシルは様々な人の思いがこもっています。そこがかっこいいのでお気に入りです。 |

7 振り返りの場面での生徒の記述例

他の人の発表を聞いて、根拠を具体的に言ってもらおうとその人の言いたいことが理解しやすいということが分かった。いろいろなお気に入りのエピソードがあって、他の人のも聞いてみたいと思った。

8 本時の展開

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等 |
|-----------|--|--|
| 導入 5分 | 1 前時に学習した内容を確認する。 2 学習課題を把握する。 | 1 3つの根拠を示した説得力のある筆者の文章の構成の工夫について確認する。 【主体的】 説得力のある文章を自分でも書くことができるかを投げかける。 |
| 展開 40分 | <p style="text-align: center;">根拠を明らかにして、自分のお気に入りのものの良さを伝えよう。</p> <p>第1ステップ</p> 3 個人で学習課題を追究する。 <p>第2ステップ</p> 4 小グループで交流し、根拠が適切かどうかについて発表し合い、説得力のある内容になっているかを検討する(全体)。 <p>ラストステップ</p> 5 交流したことを踏まえて、説得力のある表現で文章を書く(個人)。 7 本時のまとめをする。 | 3 自分のお気に入りのものについて、お気に入りの根拠を学習シートに記入させる。 4 批判的にならないように、しかし疑問に思う点、補足する点についてははたは意見や意見を述べ合うよう指示する。顔を上げて目を見て話し合うよう促す。 【対話】 根拠を示して自分の意見を述べる。実物を見ながら、根拠の整合性について、質問や意見を述べる。 5 話し合いによって深まった自分の意見を、新しい観点や認識を整理しながら文章にまとめさせる。 ◆学習シート <p>6 【書く能力】</p> <p>課題に対する自分の考えを、読み手にわかりやすく伝わるように根拠の適切さを考えながら文章にまとめることができる。(学習シート)</p> <p>A:課題に対する自分の考えを、根拠の適切さを考えながら、具体的に記述し、自分の言葉で文章にまとめている。</p> <p>C:課題に対する自分の考えを明らかにさせる。もっともだと思っただ他者のアドバイスを参考にさせる。</p> 7 数名に発表させる。自分が書いたことと比較しながら聞かせる。 |
| 終末 5分 | 8 学習活動を振り返る(個人)。 | 【リフレクション】 本時の学習で気付いたことや他の人の意見から参考になったこと、その他新たに浮かんだ疑問点や今後生かせそうなことを振り返らせる。 ◆学習シート |

9 指導と評価の計画

| 2 年 国 語 | | 単元名「論理をとらえて」 (中心学習材 「君は『最後の晚餐』を知っているか」 布施英利) | 総時間 5時間扱い |
|--|---|--|-----------|
| 学習指導要領の指導事項 | | 単元の目標 | |
| <p>読むこと</p> <p>(ア) 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。</p> <p>(イ) 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。</p> <p>(ウ) 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。</p> <p>書くこと</p> <p>(ウ) 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。</p> <p>(オ) 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にすること。</p> <p>言語についての知識・理解・技能</p> <p>(1) ウ 抽象的な概念を表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> | | <p>立場と根拠を明確にした説得力のある表現を学び、論理的な表現を工夫することができる。</p> | |
| 時 | 主な学習活動 | おおむね満足 (B) | |
| 1 | 単元目標・流れについての確認。 「最後の晚餐」について知っていることを確認し、本文を読んで感想や気づいたことを書く。 | <p>関 文章を読み、感想や気付いたことをまとめている。</p> <p>言 文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。</p> | |
| 2 | 文章全体の構成を捉える。 序論の要点をつかみ、この文章のテーマをとらえる。 | <p>読 全体の構成について考え、序論・本論・結論に分けている。</p> <p>言 文章を読む際に、重要な役割を果たしている抽象的な概念を表している語句に着目し、語句が表す具体的な中身を考えている。</p> | |
| 3 | 本論の「解剖学」「遠近法」「明暗法」について読み取る。 | <p>読 「解剖学」「遠近法」「明暗法」について、文章を読み取る。</p> <p>言 文章を読む際に、重要な役割を果たしている抽象的な概念を表している語句に着目し、語句が表す具体的な中身を考えている。</p> | |
| 4 | 筆者が「最後の晚餐」を「かつこい」と思った理由を、根拠を明確にしてまとめる。 | <p>読 文章に効果的に使われている語句に注目し、筆者が「かつこい」と思っている根拠を読み取っている。</p> | |
| 5 (本時) | 筆者の論の展開に学び、説得力のある文章を書く | <p>関 他の人の意見を共感的に聞き、根拠をもって自分の考えを発表している。</p> <p>書 課題に対する自分の考えを、読み手にわかりやすく伝わるように根拠の適切さを考えながら文章にまとめている。</p> | |